

# 大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide





研究が楽しくて  
博士後期課程に  
進学したけど…

アカデミアに  
進みたいけど  
将来が見えないし…

自分の専門を  
活かせる企業が  
思い浮かばない…

周りには  
キャリア相談  
できる同期が  
少ないし…

研究が忙しくて  
就職活動が  
なかなか  
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し  
てみよう、研究をするなら産業界と  
いう広く大きな世界がある事に気が  
付きます。

思いもよらない企業があなたの方  
のような人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、  
P12へGo!

D2/D3/PD  
Type.1

### 【研究没頭タイプ】

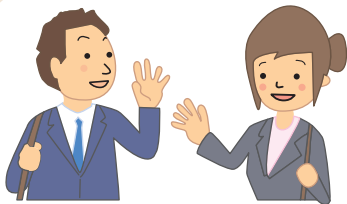
●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

## あなたはどのタイプ?

### 【計画設計タイプ】

Type.2  
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…  
●まだ余裕があるぞ、アカデミアか  
企業か、しっかりと情報収集しよう!!



そんなあなたは、自分の専門性の  
活かし方を探ってみよう、そして  
プラスアルファのスキル習得で大きく  
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、  
P6へGo!

早いうちに複数の  
選択肢を検討して  
おきたい…

研究は楽しいけれど  
博士後期課程は  
将来が不安…

企業では  
どのような研究が  
できるんだろうか…

大学と企業って  
研究のやり方が  
違うのかなあ…

社会に出てから  
役立つスキルを  
身に着けたい

# 人材育成本部が提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型  
(DC・PD)

意識改革型  
(MC・DC・PD)

⑩ 博士力実践インターンシップ

業務を経験  
.....P15へ

⑨ 赤い糸会

企業と論議  
.....P13へ

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定  
.....P12へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑦ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る  
.....P7へ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる  
.....P7へ

⑤ 小論文・作文セミナー

実践につなげる  
.....P8へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る  
.....P11へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る  
.....P9へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る  
.....P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは  
ここから!

全員登録!  
.....P4へ

# ① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの  
お知らせが  
届きます  
(Event News)

企業情報や  
就職情報の  
閲覧が可能  
(Company Info)

企業への  
自己PRを  
発信できます！  
(Expose your PR  
Information)

## Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト  
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…  
だけどTransferable Skill  
はどんな場面でも必要だ。登録  
して活用しよう!



MCでの就職も、DC進学後に  
就職するのもおもしろそう。  
情報やイベント満載だわ!  
早く登録しよっと。

まずはご登録  
ください!

Hi-Systemへは人材育成本部ホームページよりアクセス!

Get access to Hi-System  
from the Front Office for Human Resource Education and Development website!

<https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/>

左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ

Left banner "Hi-System"→Go to the Hi-System login page



## みなさんをサポートするチームです

### S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在学生、またPDの皆さんが多様なキャリア、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

### COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、11大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

### I-HoP

I-HoPは英語で学ぶ外国人大学院生や研究者のためのプログラムを実施しています。英語での相談など、是非ご利用ください。

## Twitter やってます



博士のための情報を発信するために

Twitter を運営しています。

是非フォローをお願いいたします。



## ② キャリアマネジメントセミナー（授業） MC・DC・PD

1. 就職したい企業の分析法がわかる!
2. イノベーションの本質がわかる!
3. 企業の研究開発の考え方がわかる!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は450人近くの受講者がありました。対面で実施の場合は、函館の水産科学院にも同時中継しています。

1. 大学院共通授業科目  
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目  
(研究指導科目を含む)  
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

### 2021年度実施状況

※ 講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	人材育成本部	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	人材育成本部	吉原拓也
3	企業の種類と分析	人材育成本部	片垣麻理子
4	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/ 元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
5	知的財産マネジメント	人材育成本部	吉原拓也
6	アントレプレナーシップ	ベビログ	板野宣人
7	マーケティング	日本電気	小糸達也
8	発想法	東京大学	藤本徹
9	商品創造/新商品開発	セコム	甘利康文
10	企画書の書き方	人材育成本部	吉原拓也
11	企業(1)先端技術と新規事業	epiST	上村崇
12	企業(2)先端技術と新規事業	ソニーグループ	矢藤有希
13	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
14	企業(4)先端技術と新規事業	NHKエデュケーショナル	石戸功一
15	リーダーシップ	大日本住友製薬	板倉朋宏

### 2022年度実施予定

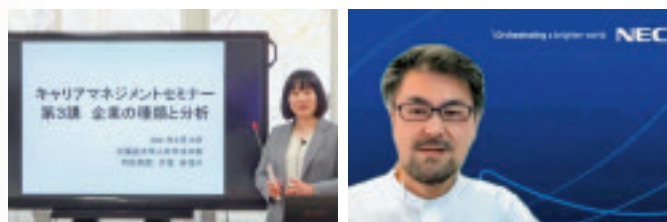
開催日時: 2022年4月～7月  
毎週1コマ 全15回

### 受講方法(予定)

① Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2022年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。

② 単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。

※ 詳細はシラバスをご覧ください



### 受講者の声

2021年度受講者アンケートより

自身がちょうどいま向き合っている就活と照らし合わせて話を聞くことができ、また学んだことをすぐに実践に活かせたので、本当にためになりました。

オンライン講義かつ好きな時間に見れる、ということが非常に良かったです。研究や就職活動で、予定がかなり詰まっていたのでスケジュールが組みやすい形式でした。

現在、企業が求めている能力・人材について各テーマごとに1講義を使い、詳細に説明して頂き、理解が深まった。就職活動や社会人になってもこの講義のことを思い出して、活かしていきたい。



## ⑥⑦ キャリアマネジメントセミナー（演習） DC・PD・(MC)

1. 就活のビジネスマナーが身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

### ビジネスマナーの基本と実践

2022年度実施予定

2022年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

社会人としてふさわしい接遇の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2021年度受講者アンケートより

2021年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師



コミュニケーションは言葉だけでなく、見た目や声の調子が大きな影響を与えるということを知ることができ、コミュニケーションをとるうえでどのようなことに気を付けるべきか学ぶことができた。

面接官に対してもおもてなしの心で接するという発想が今までなかったので、面接で評価されるということ以前に、お互いに気持ちよく話ができるような接し方を意識することの大切さを学ぶことができました。

優秀な学生からのフィードバックはとても参考になったし、刺激にもなった。

### エントリーシート書き方セミナー

2022年度実施予定

2022年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

研究開発職向けのES書き方セミナーです。

webサイトに掲載されている一般的な書き方ではなく大学院生ならではの書き方を具体的に説明します。企業の研究職を目指し就職活動中の方に大変有効です。

2021年度実施状況

※オンラインで実施



エマージングテクノロジーズ・深澤講師



2021年度受講者アンケートより

研究概要は今まで背景から書いていたのですが、目的から書くようにします!そういった意味で、採用者がどこを見るかを意識したESの書き方を磨いていこうと思います。

志望動機は「御社のビジョン」に合わせるように書いてしまっていたため、もっと自分の意思表示をする場として活用できると知って参考になった。また、ズームアウトの考え方は有効に活用していきたい。



## ⑤ キャリアマネジメントセミナー（演習） MC・DC・PD

1. 文章の書き方がわかる！
2. 文章を書く仕事のマインドセットがわかる！
3. 自分が文章を書くときの癖がわかる！



マスコミ・サイエンスコミュニケーター等の就活のためのマインドセットや、採用試験の小論文・作文対策のため基本的なストーリーの作り方を学べるセミナーです。

(株)イノベーターズ・キャリアサポート(ICaS)より経験豊かな講師をお迎えしています。

### 小論文・作文セミナー

～マスコミ・サイエンスコミュニケーター等を志望する方に役立つ就活対策～

2022年度実施予定

2022年8月～10月(予定)  
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

2021年度受講者アンケートより

#### 2021年度実施状況

※オンラインで実施



イノベーターズキャリアサポート  
松尾講師

セミナーの中でのマインドセットをつくる過程で、記者として働く自分の姿をイメージすることができ、これまでの記者職に対して抱いていた漠然とした憧れが、将来のなりたい姿としてより明確になりました。

企業の説明会などではネガティブな面はほとんど話されないため、そういった面も聞いたことは有意義だった。

マインドセットを作るなどといった汎用性の高いスキルのセミナーは本当にありがたいと思っています。こういうセミナーはまたやってほしいと思います。

### 小論文・作文添削

2022年度実施予定

2022年8月～10月(予定)  
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

決められた時間・文字数で作文を執筆していただき、講師が添削します。実際に執筆してみるとより効果的です。

2021年度受講者アンケートより

実際に作文を添削していただくことで、どのように作文を書けばよいのか、より理解できました。

添削のような相互なセミナーは実際に学ぶことが多くて良い。



# ③ Advanced COSA

# MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人の北大博士先輩もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。

1. 大学院共通授業科目  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

## 2022年度開催予定

Advanced COSA(1):2022年7月頃(予定)  
Advanced COSA(2):2022年11月頃(予定)

### スケジュール

(1日目)	(2日目)
・ガイダンス(30分)	・企業講師③講演(60分)
・企業講師①講演(120分)	・質疑応答(50分)
・昼休み(60分)	・企業講師④講演(60分)
・質疑応答(60分)	・昼休み(60分)
・企業講師②講演(120分)	・質疑応答(50分)
・質疑応答(60分)	・企業講師⑤講演(60分)
・懇親会(90分)	・質疑応答(50分)
	・総括討論、まとめ(30分)

### これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ テルモ
■ 旭化成	■ デンソー
■ アステラス製薬	■ 東急建設
■ アラヤ	■ 新潟大学
■ 大塚製薬	■ 日本製鉄
■ 花王	■ 日本電気
■ キューピー	■ 日本電信電話
■ 協和発酵キリン	■ ノバルティスファーマ
■ クラシエ製薬	■ パナソニック
■ 神戸製鋼所	■ 日立製作所
■ サントリー HD	■ 堀場製作所
■ JSR	■ マルハニチロ
■ JNC	■ 三菱電機
■ シスメックス	■ メタジェン
■ 資生堂	■ ヤンマー
■ 昭和電工	■ ライオン
■ 住友化学	■ ラクオリア創薬
■ 第一三共	■ レノバ
■ ダイセル	■ ロート製薬
■ 大日本住友製薬	

※新型コロナウイルスの感染状況により構成が変わる場合があります。詳細はシラバスをご覧ください。

## 2021年度実施状況

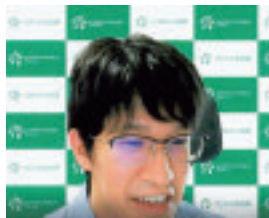
※オンラインで実施



旭化成・橋本講師



テルモ・狩野講師



大日本住友製薬・水上講師



日本電信電話・高橋講師



サッポロビール・早坂講師



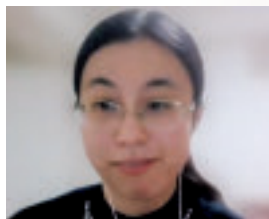
新潟大学・樋口講師



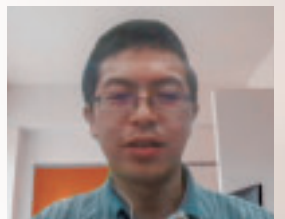
ラクオリア創薬・渡邊講師



協和キリン・高橋講師



神戸製鋼所・倉講師



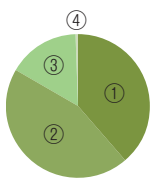
昭和電工・新田講師

## 2021年度受講者アンケートより

### 質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

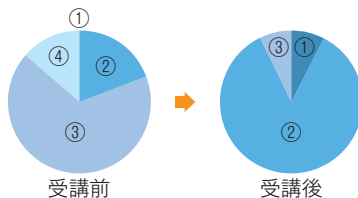
①②の肯定的な感想が90%



### 質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
- ②ある程度理解している
- ③よく理解していない
- ④全く理解していない

①②のある程度以上 理解の比率が19%→93%



### ■受講生より■

- 研究職の方々であるため、研究については専門性の高さを感じ尊敬すべき点であると感じましたが、皆様研究の専門性だけでなく自分にとっての仕事の価値観を明確にしていることや研究以外の経験が豊富であることもとても参考にさせて頂きたいところでした。
- いろんな業種で働く先輩方の生の声を聞くことができ、本当にいい経験をしたと実感しました。自分をこれからの将来社会に貢献できるように、今自分がしている研究の意味をよく考え、しっかり理解して日々の実験等に取り組んでいきたいです。
- 質疑対応をしてくださった講師のお話を聞き、描いたデザインと社会の流れをうまくすり合わせることで、デザインしたキャリア以上に満足できる生き方ができるのかもしれないと思いました。

## 先輩からひとこと

### Message

水上 雄貴

住友ファーマ株式会社  
リサーチディビジョン 化学研究ユニット第1グループ  
H29年3月 北海道大学 大学院  
生命科学院 博士後期課程 修了



私は若手研究者の皆様には「客観的な自己分析に基づく、目的意識を持った行動」を起こせる人になってほしいと思っています。皆様は今何を成し遂げるために大学院で研究をしていますか？ このシンプルな問いに対して「徹底的に考え抜いた」答えを持っている方はどれくらいいるでしょう。また、皆様は成し遂げたいことを明確にしたうえで、それに必要な行動を「目的意識をもったうえで」起こせているでしょうか。近年は労働環境が大きな転換期を迎えており、どのような世代の人間に対してもエンプロイアビリティ(所属機関から雇用され続ける能力、或いは外部期間への転職・異動を可能とする能力)を高めることが求められています。このような困難な時代の中で社会人としての最初のキャリアを選択する学生の皆様は、企業アカデミアに関わらずそのキャリアを通じて何を成し遂げたいのか、それを成し遂げるために必要なスキル等を有しているかをシビアに問われることとなります。私は上述した問いに答えるために必要なことが、客観的な自己分析とそれに基づく目的意識をもった行動だと思います。なんとなく生きていって何者にもなれない時代に私たちは生きているのです。

上記の内容に少しでも共感していただけた方は、今一度自分がなにを成し遂げたいのか、自分に何ができて何ができないのかを客観的に俯瞰的に考えてみてください。成し遂げたいことを考えるときに無意識に考える範囲を限定していませんか？ 自分の能力を実際より高く、或いは低く見積もっていませんか？

自分の立ち位置を「正しく」把握することができれば、自ずと将来に向けてやるべきことが浮かんでくるでしょう。

めまぐるしく変わる世の中で目標を見失わずに生きていけるかどうかは、人生の中で一番自由で豊富な時間を確保できる大学生活を如何に充実させられるかにかかっていると私は思います。今しかできないことに精いっぱい取り組み、チャンスを実際に掴みとれる人になってください。A-COSAは皆様が行動を起こすきっかけを与えてくれることでしょ。

## Advanced COSAに参加して

### Message

佐々木 駿

北海道大学 大学院  
農学院 応用目目フロンティアコース専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→株式会社堀場製作所内定



私の体験では、面接などで登場する「何か訊きたいことはありますか?」のような企業側からの問いかけに、どう答えるかが悩みの種でした。絶対的に正しい返し方を提示することは難しいのですが、ひとつ感じたのは、ある程度の具体性を伴った「イメージ」を構築できているかどうかが良い質問を形成する上で重要かもしれないということです。

私が初めてA-COSAへの参加を決めた当時(修士一年目の頃)、自分が企業で働いている姿をイメージするのは難しいことでした。自身の基礎研究寄りの研究テーマが社会で役に立つ様子を想像できなかったのが理由の一つです。しかしA-COSAにて、様々な背景をもつ講師の方々から、企業でどのような研究が行われているのか、といったお話を聞くうちに、「もしかすると、こういう形であれば自分の研究テーマも人の役に立つかも知れない」という漠然としたイメージを抱くようになりました。

これだけではただの妄想なのですが、このイメージを基礎に、さらに今の技術や知識でどこまで実現できるのかを考え、吉原先生や研究室の方々や議論を交わしました。また、この経験のおかげで「自分がこれから社会に出てやりたいこと」を以前より明確に認識できるようになりました。

研究室にいただけではこのようなことを考える機会はなく、自分のやりたいことを言語化するのにより困難であったと思います。A-COSAは、「いまの社会に何が必要とされているのか?」「それに対して自分に何が出来るのか?」といった疑問に対し、自分の研究テーマから具体的なステップを想像する契機となりました。与えられた情報と自身の知識技能を材料に、想像力を働かせ、膨らませることは、新しい社会的価値を生み出すことに繋がります。そこに企業にとっての価値も含まれるのかを問いつけるのも「良い質問」に入ると思います。

A-COSAは、このような想像力を育むための材料を得る絶好の機会です。自分自身の研究と社会のつながりに興味を持つ方は、ぜひ参加を検討してみてください。

## Advanced COLA

## MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、アカデミアではなく産業界にその活躍の場を見出された企業人の方をお招きし、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただくとともに、人文/社会科学系の学位の意義についても論議します。

### 2021年度実施状況

※講義動画の配信により実施



日本入試センター・秋月講師



朝日新聞社・黒木講師



北海道開発技術センター・小西講師

### 2019年度受講者アンケートより

アカデミックポストのみに留まらない、多様なキャリアが広がっている(広がっている)ことを実感でき、自分のすべきことが明確になったような感じがしました。

博士課程に進んだ方々が、社会でどのように活躍されているのか、また学生時代の研究分野とどのように向き合っているのかを知ることができてよかったです。

# ④ キャリアパス多様化支援セミナー MC・DC・PD

1. 試験管を振る以外の理工系人生!
2. これからは交渉力が無いとダメ!
3. ファシリテーションを実体験!



キャリア形成に必要な情報の提供や能力の開発とともに、企業におけるプロジェクト推進の実際や、大学院生が大学内では得ることが難しい多様なキャリアの実際情報を、既にそのキャリアを獲得した社会人を招いて講義をしていただく内容です。具体的には研究者と最もかわりの深い知的財産権を扱う仕事、これからますます必要になる交渉学などについて、テーマを絞って講演いただきます。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
2. 生命科学 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

## 2022年度実施予定

### I(交渉学):2022年6月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

### II(プロジェクトファシリテーション):2022年7月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

### III(知的財産権):2022年12月頃(予定)

企業での研究開発成果は知的財産権で保護する必要があります。そのためには技術を熟知し、論理的思考能力を発揮できる人材が必要になります。企業の知財活動の実際を学び、自身の可能性を探求します。

## これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ■ IT教育研究所    | ■ 大日本印刷          |
| ■ アカリク       | ■ 太陽国際特許事務所      |
| ■ 味の素        | ■ 東京富士大学         |
| ■ 内田・鮫島法律事務所 | ■ ナブテスコ          |
| ■ AgIC       | ■ 日本電気           |
| ■ 王子HD       | ■ ノエビア           |
| ■ オリジナルペット   | ■ パナソニックIPマネジメント |
| ■ 貝印株式会社     | ■ ビザスク           |
| ■ 金沢工業大学     | ■ 日立製作所          |
| ■ カブク        | ■ 富士フイルム         |
| ■ 神戸製鋼所      | ■ 古河電気工業         |
| ■ サントリー HD   | ■ ブルックス          |
| ■ ジーンクエスト    | ■ ベビログ           |
| ■ シスメックス     | ■ みずほ情報総研        |
| ■ 秀和特許事務所    | ■ メタジェン          |
| ■ 積水化学工業     | ■ メルティンMMI       |
| ■ セルバンク      | ■ リバネス           |
| ■ ソニー        |                  |

## 2021年度実施状況

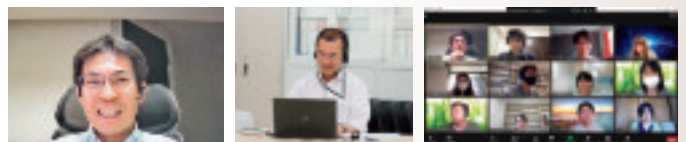
※オンラインで実施

### I 交渉学



東京富士大学 隅田講師

### II プロジェクトファシリテーション



古河電気工業 関講師

## 2021年度受講者アンケートより

これまでの考え方をガラッと変えてしまう程、面白い内容でした。特に、相手の利益も自分の利益も追及するために、交渉をするという事がとても参考になりました。

継続して取引できるような関係を構築することが大切だと実感しました。今後の人間関係にも生かしていきたいです。

## 2021年度受講者アンケートより

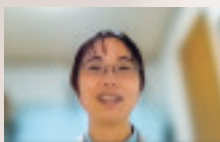
ファシリテーターがいるかいないかで話し合いの流れがだいぶ変わるということを実感することができた。演習や内容だけでなく、セミナーの進め方や準備への心構えも含めてとても勉強になった。

ファシリテーターとして(隠れファシリテーターであっても)抑えるべきポイントであったり、会議の構造について自分の癖のようなものが自覚できたのが大変良かった。





ナベテスコ・鎌森講師



秀和特許事務所・岡田講師



貝印・地曳講師

2021年度受講者アンケートより

知的財産=特許申請のみと思っていたが、競合他社に対して戦略を立てるためにも使われることを知れて勉強になった。

単に技術を囲い込む守りの立場ではなく、知財によって企業戦略を改善する攻めの姿勢に転ずることが出来る点には驚きがあった。

## ⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 博士専用キャリア相談窓口!
3. 自分の特徴を活かす進路を探索!



主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ アクセンチュア	■ キリンホールディングス	■ JAMSTEC	■ 同仁医薬化工	■ パスコ	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ 旭化成	■ クラシエホールディングス	■ 昭和電気	■ トーマツ	■ PwCコンサルティング	■ 三菱電機
■ 出光興産	■ SAPジャパン	■ 住友化学	■ トクヤマ	■ プリチストーン	■ ヤフー
■ ウェザーニューズ	■ 塩野義製薬	■ 積水化学工業	■ 日東電気	■ 堀場製作所	■ ラクオリア創薬
■ 刈谷動物病院	■ 島津製作所	■ 第一三共	■ 日本電気	■ マイクロンメモリジャパン合同会社	■ リコー
■ 京セラ		■ 大日本印刷	■ 日本製鋼所		
■ 協和キリン		■ 中外製薬	■ 日本電信電話		

### J-window を活用して

#### 横山 実紀

文学院 人間科学専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→日本電信電話株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは、博士2年の6月頃でした。進路に悩む中、コロナ禍で大学に入ることも難しく、また身近に文系大学院の博士で企業に就職した方もおらず途方に暮れていました。進路についてきちんと考える機会を作ろうと、キャリアマネジメントの授業を受けるべく受講希望を提出した際、もし民間就職も視野に入れて進路に悩んでいるようなら面談しませんかと声をかけていただきました。

この時のJ-windowの進路面談をきっかけに、赤い糸会にも参加させていただき、自分の研究を企業の方に説明するためのスライド資料や動画作成など、実践を交えた経験をさせていただきました。この経験を通じて、同じ分野を専門とする研究者に話すのではなく、企業の方の立場や目線に立って伝えるとはどういうことを学びました。試行錯誤と実践の繰り返しによって、選考時の面接にも自信をもって挑めたのだと思います。

また、赤い糸会でご縁があった企業にエントリーシートを提出する際にも、J-windowで添削をしていただきました。自己アピールの添削では、日々の研究活動で身についた、意識したこともなかったようなスキルもアピールポイントになることを教えていただきました。また、志望動機について、具体的にどう文章で表現したらよいか困っている際には、ときにビデオ通話をつなぎながら、何度も丁寧にご指導いただきました。企業の立場から自らの研究の何が魅力的に映るのか等、自分では気づけなかった研究の魅力についても深く掘り下げることができ、ブラッシュアップした文章を提出することができました。

丁寧な面談ももちろんですが、実際に面接練習や面談をお願いするかもしれないに関わらず、何かあったときに相談に乗ってくださる方々がいるということそのものが、とても大きな心の支えでした。温かく応援して下さった人材育成部の先生方、スタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

### J-window を活用して

#### Ferreira da Rosa Pedro Paulo

総合化学院 総合化学専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→住友化学株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは、博士1年の秋ごろです。当時、日本の就職活動についてほとんど理解していませんでした。そこで、まずは進路相談をさせていただきます。基礎知識(始まるタイミング、流れなど)から可能な進路の決め方・考え方について非常に丁寧に説明していただきました。これで最初の就職活動の不安を乗り越えて、自分の研究や就職活動の進め方がもっと楽になりました。

就職活動を始めた時に、ES添削と面接対策において非常にお世話になりました。ESでは自分がどのような人なのかうまく伝わらないと面接などを進められないので、私にとってとても大事なステップです。そこで、ES添削では企業に対してアピールはどのようにすればいいのか? 文字制限があるため、一つ一つの言葉の選び方が重要です。初めは研究内容や業績を中心に伝えるよう書きましたが、面談や添削を経て、自分のどこが企業にとって魅力的だと思うのか?という視点を加えて、自分のストーリーをアピールすることが出来ました。面接対策として吉原先生に模擬面接をお願いしました。面接指導では、話す内容を整理して下さり、面接作法から話し方まで細かく教えていただきました。特に、コロナ禍で面接がオンラインとなり、これまでの対策と異なった点もしっかり教えていただきました。また、面接の進度に合わせた模擬面接を何度も用意して下さったことも内定を獲得できた大きな要因だったと思います。

研究を進めないといけない気持ちがある中で就職活動もやらなければならないというのは大変だと感じているあなたにJ-windowは不可欠な存在だと思います。メンタルのサポートを含めて就職活動の全てサポートをして下さいます。是非J-windowを利用してみてください。

最後になりましたが、人材育成本部、S-cubicおよびI-HoP(外国人の若手研究者へのサポートプログラム)の方には本当にお世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

# ⑨ 赤い糸会 (赤い糸ONLINE)

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!

赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を公表し、博士人材は自身の研究内容や人となりアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。新型コロナウイルスの感染状況により実施形態が対面またはオンラインになります。募集案内でご確認ください。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」  
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)  
専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」  
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

## 2022年度実施予定

2022年9月~12月に3回程度実施予定

### オンライン実施時のスケジュール

- ・企業動画視聴
- ・博士人材動画視聴
- ・チャットによる意見交換
- ・企業とのライブ交流
- ・反省会(博士人材交流会)

### 対面実施時の1日スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・博士人材のポスター発表(130分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

### 2021年度参加企業

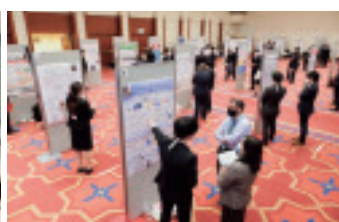
(敬称略、五十音順)

■ AWL	■ 資生堂	■ 同仁医薬化工
■ 旭化成	■ 島津製作所	■ トクヤマ
■ 朝日新聞社	■ 昭和電工	■ とめ研究所
■ アステラス製薬	■ 信越化学工業	■ 日本製鉄
■ アミノアップ化学	■ 住友化学	■ 日本電気
■ アルピオン	■ 住友金属鉱山	■ 日本入試センター
■ ウェザーニューズ	■ セイコーエプソン	■ ノーベルファーマ
■ エーザイ	■ 積水化学工業	■ ノバルティスファーマ
■ 大塚製薬	■ 第一三共	■ パナソニック
■ 京セラ	■ ダイセル	■ 富士通研究所
■ クラシエ製薬	■ 大日本印刷	■ プリヂェストン
■ クレハ	■ 大日本住友製薬	■ 古河電気工業
■ ケンブリッジコンサル タンツ	■ 太陽HD	■ 堀場製作所
■ 神戸製鋼所	■ 田辺三菱製薬	■ みずほ第一フィナン シャルテクノロジー
■ コーセー	■ 中外製薬	■ 三菱電機
■ コニカミノルタ	■ データフォーシーズ	■ ヤフー
■ コベルコ建機	■ テルモ	■ リコー
■ 三桜工業	■ 東急建設	■ リッジアイ
■ JSR	■ 東京エレクトロングループ	■ ロート製薬
■ 塩野義製薬	■ 東芝	

## 2021年度実施状況



個別交流会(オンライン)



ポスター発表



個別交流会



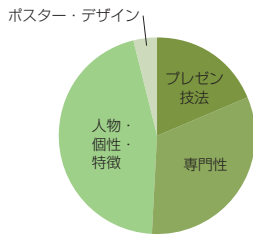
情報交換交流会

2021年度の総参加延べ数 企業:66社、研究者:95名

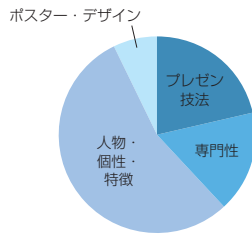
## 2021年度のアンケート結果

### ポスターセッションについて

博士人材がアピールできた点



企業が注目する点



### ■DC、PDより■

- 自分とは一見無関係のような企業様でも活躍の場というのがあることわかった。(対面)
- HPや就職サイトでは分からないような企業が考える学生への希望や就職活動を行う上でのポイント、さらには就職後についてのことまで、密に話す機会があったことで詳細に聞くことができてとても良かったです。自己アピールのポイントなども、より意識するきっかけになりました。(オンライン)

### ■企業担当者より■

- 高い研究力を生かして、専門外の領域でも積極的なチャレンジを期待しています。(対面)
- 全体を通じて少人数でのお話できた点が非常に良く、特に交流会は参加された学生の方と深く交流することができました。(対面)
- 当社に興味のある学生と、オンラインでも十分に相互交流ができました。来年度もぜひ参加したいと思います。(オンライン)

## OBとして赤い糸会に参加して

山崎 莉佳  
アステラス製薬株式会社  
開発研究 モタリテック研究所 ターゲティング医薬研究室  
(2022年2月現在)  
R2年3月 北海道大学 大学院  
薬学研究院 博士後期課程 修了



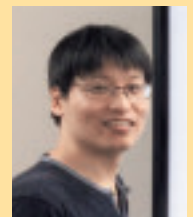
私は学生時代、博士1年から赤い糸会に参加していました。現在は製薬企業で研究員として働いています。本年度は、企業人として赤い糸会ONLINEの博士人材と企業のオンライン交流会に初めて参加いたしました。学生側と企業側両方から赤い糸会に参加した経験を通して、年の近い先輩として学生みなさんに僭越ながらお伝えしたいことは、「赤い糸会に参加する目的を明確にし、主体的に行動すること」の重要性です。

赤い糸会は、学生と企業人が効果的に交流し、各自が収穫を得られるように様々な工夫が施されています。しかし、何も準備せずに参加するだけでは、収穫は少ないです。企業人として参加すると、キラキラと魅力的な印象を与える学生と、残念ながら魅力が伝えきれていない学生がいると感じました。前者の方は、積極的に質問をされ、その発言内容からも目的を持って主体的に会に参加していることがよく伝わってきて、「このような方なら企業でも主体的に活躍してくれそう!」と感じ好印象を受けました。一方で、後者の方は質問をせず静かにセッションに参加するだけで、人柄や意思が伝わってきませんでした。それに企業人も人ですから「当社に興味がないのかな…」と寂しい気持ちにもなります。質問をすることは、自分が相手に興味を持っていると示すこととイコールです。私が学生の頃は、赤い糸会の先生から「質問しないのは、会に参加していないのと同じだ!」と叱咤されていました。ご自身の貴重な研究時間を割いて会に参加するのですから、赤い糸会のとさだけは気恥ずかしさを封印して積極的な交流を心掛け、赤い糸会をご自身の飛躍のチャンスに繋げてください。

赤い糸会では普段の研究活動とは全く異なることにトライするので、最初は困難を感じることも多いと思います。うまくできなかった点は、次回リベンジの気持ちを持って、人材育成本部の先生や博士の仲間に相談することもオススメです。そのような前向きな姿勢がみなさんのチャンスへと繋がると信じています。

## 赤い糸会に参加して

沖田 誠悟  
理学院 数学専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→株式会社プリチストン内定



私は指導教員や先輩から勧められたことをきっかけに、赤い糸会に3回ほど参加しました。そのときの実体験を交え、赤い糸会に参加する際に大事だと感じたことを二つ、お話ししたいと思います。

一つは、企業は自分にどんな能力を求めているのか、相手目線に立ったアピールをすることです。赤い糸会において、学生は自身の専門性の高さや研究能力ばかりをアピールしがちですが、企業はもっと総合的な能力を見ているのではないかと感じることもありました。例えば私はポスターセッションにおいて、平易でかつ話の導入から結論までの流れがわかりやすいプレゼンを心掛けていましたが、実際に内定をいただいた企業からは「文系出身の自分でもあらずしが理解できるプレゼンだったことを評価した」と聞きました。このように企業が博士に求めているのは専門性や研究能力だけではないと私は思います。

もう一つは、自ら積極的に行動するということです。学生にとって企業と直接交流を持てる機会は多くないため、赤い糸会では少しの時間も無駄にできません。ある赤い糸会で開会までの空き時間がもったいないと考えた私は、企業ブースにお邪魔して名刺交換をさせてもらいました。その後そのときの企業と連絡を取った際に、名刺交換をした方から直接返信をいただきました。赤い糸会から数か月も経っていたにもかかわらず、私の顔と名前を憶えてくださっていたようで、メールには「赤い糸会で開会前に話しかけてきた学生さんは初めてで、自ら考えて行動できる方なのだと感じました」とありました。行動力は企業アカデミア問わず、どんな場面でも必要不可欠ではないでしょうか。

北海道大学の赤い糸会は非常に優れた博士と企業の交流イベントだと思います。是非とも後輩の皆さんには赤い糸会を活用してください。そしてこの私の経験談が、皆様が赤い糸会で自分に合った企業を見つける際の手助けとなれば幸いです。

## プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2021年度は、赤い糸ONLINEに用いる動画の作成および対面の赤い糸会に向けたポスター作成のポイントやアピール方法について演習しました。

### 2022年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定





# ⑩ 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

## 2020年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
情報科学 DC2	化学	京都府	1か月
医理工学 DC2	金融工学	東京都 ※リモートで実施	7週間
理学 DC2	金融工学	東京都 ※リモートで実施	6週間

## 2021年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
理学 DC2	化学	京都府	1か月
総合化学 DC1	化学	京都府	6週間

## インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

## 受入企業からの声

### 企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

### 企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

### 大学院博士後期課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 論理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

## インターンシップに行くまでの流れ



<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アミノアップ化学</li> <li>■ アルファ水工コンサルタンツ</li> <li>■ 医学生物学研究所</li> <li>■ 花王</li> <li>■ カネカ</li> <li>■ 京セラ</li> <li>■ クラシエ製菓</li> <li>■ 栗山町農業振興公社</li> <li>■ KDDI研究所</li> <li>■ 高研</li> <li>■ 神戸製鋼所</li> <li>■ サントリー HD</li> <li>■ JFEエンジニアリング</li> <li>■ JAきたみらい</li> <li>■ JNC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 塩野義製薬</li> <li>■ シスメックス</li> <li>■ 島津製作所</li> <li>■ 住友化学</li> <li>■ 住友電気工業</li> <li>■ セラバリュース</li> <li>■ ダイナックス</li> <li>■ 帝人</li> <li>■ データフォーシース</li> <li>■ 東急建設</li> <li>■ 東芝</li> <li>■ 東レ</li> <li>■ 日生バイオ</li> <li>■ ニッピ</li> <li>■ 日本製鉄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本電気</li> <li>■ 日本IBM</li> <li>■ 日本アレフ</li> <li>■ 日本ゼオン</li> <li>■ 日本データサービス</li> <li>■ パナソニック</li> <li>■ 阪大微生物病研究会</li> <li>■ ピアメカニクス</li> <li>■ 日立製作所</li> <li>■ 富士通研究所</li> <li>■ 北海道システム・サイエンス</li> <li>■ マルハニチロ</li> <li>■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー</li> <li>■ 三井化学</li> <li>■ 三菱電機米国研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヤンマー</li> <li>■ リコー</li> <li>■ リバネス</li> <li>■ ロート製薬</li> <li>■ Alberta University</li> <li>■ Bejo Seeds</li> <li>■ Duke University</li> <li>■ Dupont Pioneer</li> <li>■ IAEA</li> <li>■ NemGenix</li> <li>■ New South Wales University</li> <li>■ Sapienza - Università di Roma</li> <li>■ Starfighters</li> <li>■ Texas A&amp;M University</li> <li>■ The University of Massachusetts</li> </ul>
---	--	---	---

## インターンシップに参加して 中岡 梨々子

情報科学院 情報科学専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→株式会社島津製作所内定



### ■インターンシップ参加の動機

私は、博士後期課程修了後に、アカデミアか企業かどちらの研究職につくかで迷っていました。その選択肢を具体的に考えるために、企業での研究(アカデミアとの違い)を知りたいと思い、インターンシップへの参加を希望しました。学部4年生の時に島津製作所の1dayインターンシップに参加した際に、研究技術を大切にしている印象を受け、惹かれていたため、その研究開発に携わってみたいと思いました。

### ■インターンシップで感じたこと

1ヶ月のインターンシップで、企業と大学の違いを大きく感じました。一番大きく感じたことは、大学では目の前の実験の成功を目指しているのに対し、企業では安定して製品化できる実験にしなければならないということです。その中には、感度や手間を犠牲にして、製品としての使いやすさを取らなければならない場合もあり、複雑な工程や操作を無くして、誰にでも使用できる方法を考慮しなければならない場合があります。これにより、企業での研究は大学よりも難しい点があると感じました。その一方、様々な分野の出身の研究者がいるため、すぐに意見やアドバイスをもらえるという優れた研究環境があると感じました。従って、限られた時間で様々な条件や要素について検討しなければならない中、多様なバックグラウンドを持つ研究者の方々と協力して研究を進められることは、自身の研究者としての成長に大きく繋がると感じました。

### ■メッセージ

この1ヶ月のインターンシップで、会社と大学との違いをはじめ、自分が企業で生かせること、今の自分に足りないことを知ることができ、自分を客観的に見つめる機会になりました。企業への就職を考えている方はもちろん、考えていない方にも、その会社の研究を内部に入って体験することができる貴重な機会なので、インターンシップ参加を試みることをお勧めします。

## インターンシップに参加して 矢島 義之

理学院 宇宙理学専攻 (DC3)  
R4年3月修了予定  
→日本電気株式会社内定



私は6週間みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社のインターンシップに参加しました。こちらの企業とは赤い糸にてマッチングし、日々刻々と変動してゆく金融の非平衡的な問題をどの様に解決してゆくのか興味を持ったためインターンシップに応募しました。

インターンシップで行なった研究内容は機械学習の一種であるニューラルネットワークを用いて株価の擬似データを生成するというものでした。私の専門分野は銀河を対象とした観測天文学であり、金融工学は勿論、機械学習の基礎も全く身につけていない状態でした。そのためインターンシップ期間中は業務時間外でも自主的な勉強を精力的に行い、最終的にはニューラルネットワークが現実の株価のどの様な点に基づき擬似データを生成するのか、どの様な点を「現実らしい」と認識するのか明らかにし、社内のインターンシップ報告会では手応えのある議論ができました。

業務内容は私の研究分野と完全に異なり、当初は基礎のフォローで苦労しましたが、必要な理解が済んだ後は普段の研究で養った視点が大きい役に立ちました。特にニューラルネットワークというブラックボックスが学習、認識していることに対する考察では日々のデータ解析の視点がなければ完遂には不可能であったと感じます。

先方には大変申し訳ないですが、選考スケジュールの都合上みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社へ就職とはなりませんでしたが、私の人生の中で畑違いな分野の研究をやり遂げた今回の長期インターンシップは大きな経験となりました。

博士学生、特に私の様な基礎科学の要素が強い研究分野の学生は普段の研究が、完全に分野外な企業の研究活動でポジティブな要素になるか不安に思う方もいらっしゃると思います。その様な不安を少しでも解消するため、そして早期から就職活動、入社後の自分のイメージを具体化させるだけでなく、何を根拠に自分は頑張れるのか、自己の価値観を再認識するためにも積極的なインターンシップの参加をお勧めします。

# 博士インターンシップ報告会

# MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

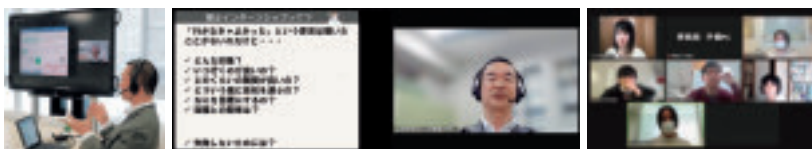
## 2021年度実施状況

※オンラインで実施

## 2021年度受講者アンケートより

インターンシップを希望しない学生でも興味深く参加できた。口頭での報告、座談会ともに丁度良い時間だったと思います。

直近の先輩のお話を聞いて、また、聞きたかったツボをついた内容をお話していただけたので参考になりました。



連携型博士人材育成コンソーシアム

## COFRe(大学間連携)

連携型博士研究人材総合育成システム  
イノベーション創出人材連携育成  
プログラム

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し12大学に規模が拡大しており、事業期間(8年間)が終了した後も継続して活動する予定です。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の11大学からも参加できますし、11大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

## イノベーション創出人材連携育成プログラム





外国人DC・PDのための

# I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

## CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

## 外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、2020年度・2021年度は新型コロナウイルスの状況を鑑み、オンラインで実施しました。企業7社~10社、外国人博士人材20~40名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士人材による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行いました。I-HoPでは次年度以降の継続開催に向けて、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性ある)企業の情報を収集しています。

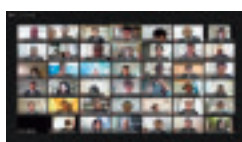
### 2022年度実施予定

年1回程度実施予定 外国人DC・PD対象

### これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- Astellas Pharma Inc.(アステラス製薬) ■AWL, Inc.(アウル)
- Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ)
- Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬) ■enU Pharma, Inc.(遠友ファーマ)
- INDETAIL Co., Ltd.(インディテール)
- KPMG Ignition Tokyo, Inc. Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機)
- NEC Corporation(日本電気) ■Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル)
- Ridge-i Inc.(リッジアイ) ■ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂)
- Sony Corporation(ソニー) ■Sysmex Corporation(シスメックス)



### 参加者アンケートより

-Firstly, I'd like to thank you so much about organizing that big event. I clearly understood the requirements for industrial hiring and what I have to do to cover that criteria.

-It was helpful and I think it gave more hope to foreign students in Japan.

-So much efficient and productive.

## 移転可能研究力強化セミナー

## 外国人DC・PD

- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外の研究者による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。2021年度はオンラインでのセミナーを数多く実施し、新型コロナウイルスの状況下でも多面的なキャリア支援を展開しています。

### 2022年度実施予定

2021年度開催セミナー(一部)

調整中

DC・PD対象(日本人含む)



-Essential knowledges and strategies for your career in Japan

-My journey from a PhD student at Hokkaido University

-Get prepared to develop career plans in Japan

-Japanese Manners for the Recruitment

-Online lecture & practice for Resilience: How to navigate "The era of VUCA"

-Essential Tips for Writing a Grant Application

# 人材育成本部におけるS-cubic活動のご紹介

北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション  
業務実施責任者  
教授 出村 誠



人材育成本部のS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは15年以上のS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

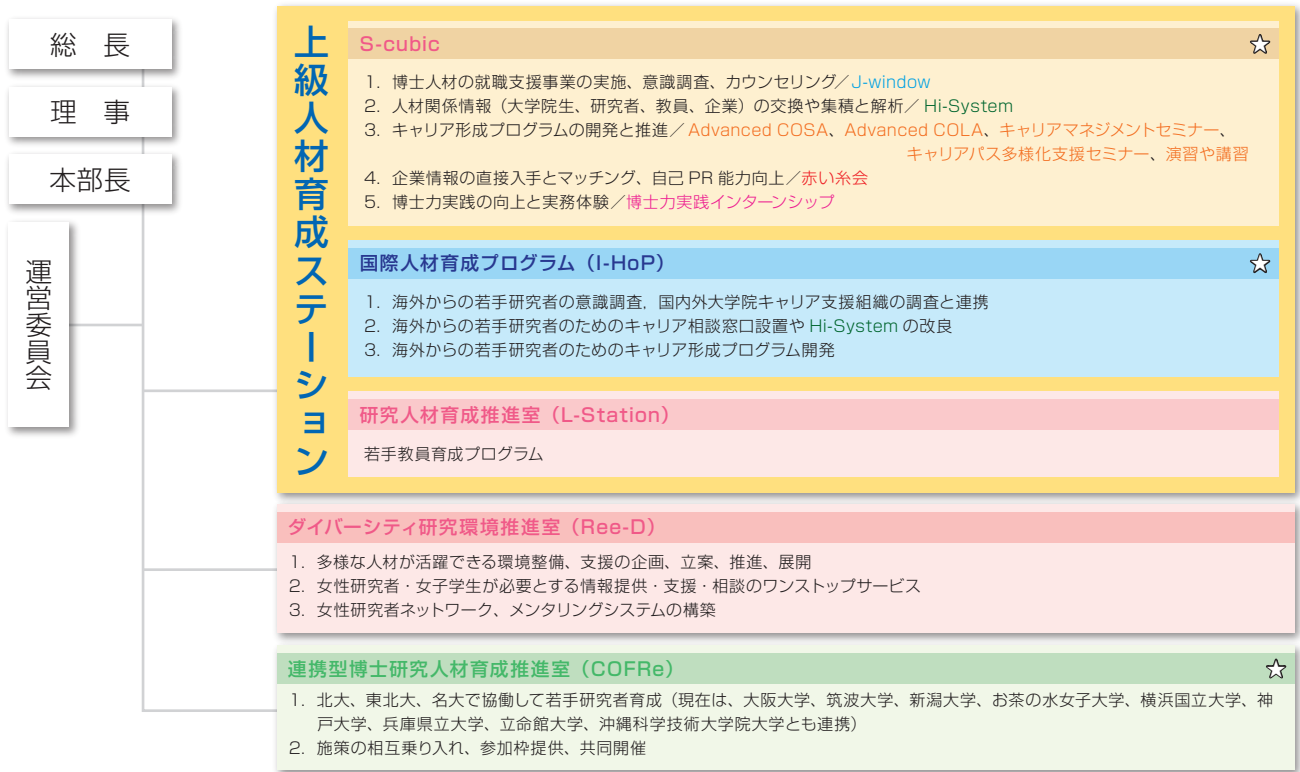
また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和2(2020)年度までに12大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や産業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

## 人材育成本部

### 組織と役割

人材育成本部では、博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とのコンソーシアムを組むことによるそれらの施策の共有化、博士人材の採用・育成のための北大テニュアトラック制度の普及定着、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備に取り組んでいます。



☆: DC・PDのキャリア支援チーム

## 2022年度実施プログラム(予定)

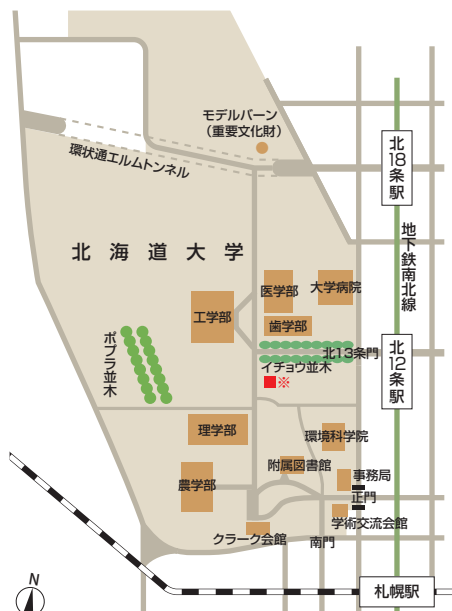
▽2022年度

アクティビティ	MC	DC	PD	単位
キャリアマネジメントセミナー	●	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーI(交渉学)	△	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーII(プロジェクトファシリテーション)	△	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーIII(知的財産)	●	●	●	☆
Advanced COSA(1)	●	●	●	☆
Advanced COSA(2)	●	●	●	☆
Advanced COLA	●	●	●	
ビジネスマナーの基本と実践	△	●	●	
小論文・作文セミナー	△	●	●	
エントリーシート書き方セミナー	△	●	●	
第49回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第49回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
第50回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第50回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
第51回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第51回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
博士インターンシップ体験報告会	●	●	●	

●受講対象 ○条件付き受講対象 △イベント開催案内参照 ×受講対象外

☆単位取得要件についてはシラバスを参照

詳細日程や時間等はホームページでご確認ください。  
 【URL】 <https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



### 北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic

〒060-0812  
 札幌市北区北12条西7丁目  
 中央キャンパス総合研究棟1号館 1階

TEL: 011-706-3275 FAX: 011-706-3584  
 E-mail: [s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp](mailto:s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp)  
 URL: <https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



【発行元】北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic  
 【発行日】2022.3.15